

目標達成計画

作成日: 平成 23年 7月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	46	眠剤依存症の利用者が1名いて、職員一丸となり努力の結果、眠剤の要求なしで眠れるようになっていたが、最近、夜間不穏の為、本人の安眠はもちろん、他者の安眠を妨げる	眠剤を服用せずとも、夜間安心して安眠できる	①昼間の活動量を増やす(2階自室～1階食堂までの往復や、トイレは2階の共同トイレを勧める)。②夜間の水分量のチェックを強化する ③起床は早めに声がけし、食堂に下りてきてもらい、昼間の時間を長くする	12ヶ月
2	43	一度は目標達成していたが、入院生活で癖づき、歩行可能であるにも関わらず、日中ポータブルを利用して排便している利用者が1名いる(夜間は家族が用心して、ポータブルを設置するようにとの強い要望で使用している)	日中のポータブルトイレからの自立を目指す	①朝食後は、職員が声がけして、食堂でしばらく居て定期的な排泄誘導(声がけ)をする ②ポータブルトイレには日中はカバーをかけ、共同トイレを利用するように張り紙などで注意を促す	6ヶ月
3	4	運営推進会には地域の方々も出席参加を募って来てはくれているが、その外にも民生委員や地元の老人会などの協力も得たい	運営推進会を充実させる	地域のコミュニティーセンターなどの茶話会にも、同席させてもらい、参加のお願いをする可能な限り、地域の集まりなどへの参加も試みる	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。